

足柄山で金時は

お山の大将になりました。

ごお手々を叩いて喜びました。

熊のお父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、弟さんたちは、大きな鮭を肩にかついでばかりの春のお日様の照る山道をだん／＼登つて行きます。たのしい／＼お山のお家へかへつて行くのでせう。

フレール賞入選童謡

## 佳作 電 信 柱

若 宮 梅 子

一 頭に白のお帽子かぶり

すらし並んだ電信柱

暑いお陽様照る夏も

冷い風の吹く冬も

いつもきれいに立つてゐる

二 頭に白のお帽子かぶり

すらし並んだ電信柱

両手に雀をしまらせて

お隣同志せいくらへ

これが一番高いかな

佳作  
月

森  
田  
明  
子

はんかけお月さん きこへ行く  
はんぶんさがしに 山に行く  
山には木の實やさんしよの木  
月のかからは みあたらぬ

はんかけお月さん きこへ行く  
山にないから 川に行く  
川にはぎぜうや ふなばかり  
月のかからは見あたらぬ

佳作  
蓑  
蟲  
小  
蟲

坂  
本  
レ  
ツ

一 蓑蟲小蟲お風に吹かれ